

追跡 あれはどうなった！

待ちに待った開通(町道白鷺線)



開通した白鷺線(平成27年6月10日)

町道白鷺線は、平成26年1月9日に崩落が発見され通行止めとなりました。町議会は災害復旧に関する請願を採択後、様々な機会ですり早期復旧を働きかけてきました。この度、ようやく開通となりました。



読まれ、伝わる議会報へ



研修の成果は

5月22日県広報研修会に参加・研修してきました。議会広報コンサルタント芳野政明氏の「目的にそった企画、編集になっているか」「読みやすさ、わかりやすさ」の目安にそって住民から手に取ってもらえる内容か。記事は正確でわかりやすいか。発行までの日数は等のクリニックは、目を引き付ける指摘とアドバイ

スでした。

昨年度全国最優秀の川西町は「特集、政策検証」等、内容・見出しも素晴らしい評価でした。47日を要した我町はまだまだ改善の要ありです。より読まれ、伝わる議会だよりを目指して努力しなければと痛感した研修でした。

記 小林

TPP交渉に関する請願

全員賛成で



- ◆請願者 農民運動山形県連合会
会長 花鳥賊 義廣
- ◆紹介議員 関 幸悦
- ◆請願要旨 TPP交渉に関する国会決議を遵守するよう、意見書を提出してください。

国に意見書を提出

照葉樹林を命がけて守ってきた綾町

行政調査レポート 7/1~7/3

宮崎県
「綾町」・「国富町」

あやちよう
綾町

くにとみちよう
国富町

人口約7,300人。面積95km²の『照葉樹林都市・自然生態系農業の町・手づくりの里』を標語・キャッチフレーズとしています。



人口約20,000人。面積131km²の『情熱・創造・躍動みなぎる健康田園都市 i ハートくにとみ』を標語・キャッチフレーズとしています。

今回は、全議員と事務局長の10人、連日の大雨で、なるほど亜熱帯気候？なんだと思える程でした。そして樟の並木道。
国富町への目的は、県と町による誘致企業をメインの町づくり。40haの土地にソーラーパネルの製造工場。その規模は世界一という年間生産量900MW(メガワット)、約1000人が働いているが、国富町の人は10%程度らしい。
ただし、固定資産税・法人税等、町の収入は莫大なものと思われる。持続可能エネルギーの一部門として、これから益々需要は伸びていくのでしょうか。エネルギーに対する価値観も変わりつつある。
綾町は町づくりにおいては、大変有名である。宮崎から熊本に抜ける山あいであり、中国雲南省、ビルマ、ラオスに連なる照葉樹林



自然生態系の素晴らしさを感じる、綾の照葉大吊橋

文化地帯である。これらの地域、とくに雲南省は、もち米、ちまき、麩、納豆、味噌など発酵食品と竹文化の発祥の地であり、日本に根付いている文化の源とも言える。「自然と調和した、豊かで活力に満ちた教育文化都市」を目指している。
国有林の樟、椿、茶等の照葉樹林を伐採し、杉や松を植えようとした営林署に対して、命がけの町づくりをしてきた前町長郷田實氏の歴史が、50年後の今も、

連綿と現町長、町職員
の思考にいきているようだ。
上からの改革が必要な時代は去り、町民みんなが考え、発展させていくことが求められる時代かもしれないが、大石田町はどのように進むべきなのか？前綾町長の御息女、郷田美紀子氏には、未来に何を遺すかの選択、実践することの大切さについてご講演をいただき、感激でした。

記 小玉



遠藤和子さん(曙町)を人権擁護委員として推薦することに全員が賛成しました。

人権擁護委員の推薦に賛成



横山利一氏(桂木町)を大石田町副町長に選任することに賛成多数で同意しました。

副町長の選任に同意